

Michi & 踏基

宙^(そら)の 駄作っ句-2

たなか 踏基 編

道^{ミチ}子の詠んだ
踏^{フミ}基の詠んだ
句：T

M 何故独り雲間に
問うて恥ずかしき
悠々たるや我が獅子星座

T 人食いの神話の
獅子は猛れども
叙情の詩はなでか懐かし

陸奥の…百人一首(河原左大臣)
しのぶもじずりたれゆえに
乱れそめにし我ならなくに
T 道の句に…パロディ一首
悩む踏さんたれゆえに
こころ乱れて我なら泣くに…

M まだ食え!と?…飽食時代
下界人肉宙(ソラッ!)牛丼
T 食わざる肉は少し褪せたか

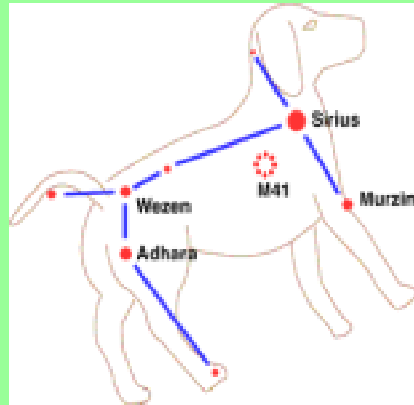
M 角出すの?…でんでん子
槍出すんかい天闘牛
T 獅子も惚れれば覇気が無くなる

M 恋敵! 琴と獅子 物語
悠久の恋くつがえす…
T レグルスは早やベガの胸中

M 隠れたる億光年の
星の界いまだ
泣かんや地の黒胃雑言

T 黒胃雑言! 気にする
道は魅力なし
獅子座の星の申し子となれ

M 空仰ぎ今宵の
星に託せしは
安らかならん乱れ浮雲



T 浮雲の流れて
夜の帷(とぼり)にも
明日の星の瞬いてあり

M 執拗に這い
回りしは蛇使い
何ゆえ君は藪から棒に

T 蛇遣い
ラスアルハゲの二等星
棒持ちながら追い回す癖

M 君独り寂しさゆえに
はしゃぐ癖
宙に抱かれつ星に語りて

T 寂しいと言えずに
今日も虚勢はり
はしゃいだ後の憂愁の宙(そら)

M 水無月の類の…琴座
雫を誰が慰めん
夜のしじまに揺れ霞む星

T 水無月にギター
爪弾く星の詩
待てど来ぬ夜の闇の空しさ

M 道すがら帷(とぼり) 天の川
包まれ灯り消え
守護霊なるや憐憫の星

T 黙りこむレグルス
哀れ守護霊の
帷の影で誰を待つやら

M 地上線雨が降ります
紫陽花に添い寝
したかる対なる獅子座

T 少女から女の
不思議紫陽花の
青きしずくと赤きしずくと

M ジャズソング
はたちの身空歌いしは
生きづきて尚解す、嘘は罪、

T 想い出せばパーティペイジ
も持ち唄は遙かなりしか
It's a sin to tell a lie,
I'll be to the neon,

M ボサノバの音流るる
飛行いつか見ん揚揚たるや

T シナトラの宇宙遊泳
するごとく翔ばす
ボサノバ厚のアレンジ

M 浸りしか
霧雨風呂に陽光も
ならば我輩友と温泉

T 黙々と霧雨の…雨中の登山
道降りながら
啼く郭公も喉の乾きて

M 玉温泉はせ参じます
虚ろ時艶やかなるや
姫もときやもん

T 玉姫の心虚ろは
何故なるや道の
ライブで逢いたきものと

M 群れなして浸る露天に
姿無き彦さんこちら!
手の鳴る方へ!

T 露天風呂
おばたりやんの一団が
肌を磨けど無駄な抵抗!

― 踏基の掲示板(BBS)お楽しみ下さい ―